

岩手県立学校共同実習船「りあす丸」塗装及び維持修繕工事設計書

岩手県立宮古水産高等学校

		金額	備考
船 体 部			
〔一般工事〕			
1	上架一式 曳船 離接岸 入出渠 滞渠		
2	船体保護アルミ板 30×100×200mm 14個 30×150×300mm 42個		
3	船側外板・船底外板塗装 船底・船側オーバーホール ※船側外板塗装はブルワークトップ含む		
4	衛生検査受検 衛生検査受検に必要な証明書・検査の手配		
船体部合計			
機 関 部			
※各機器復旧試運転及び係留運転 ※修理に付随する取替部品及び消耗品は造船所支給 ※油類及び明記部品は本船支給 ※SS制度適用せずJG検査を適用すること ※各機器とも試運転前日までは完全なる運転状態にあること ※機関室、制御室及び2階プレート養生			
小 計			
I	主機関（IHI原動機 6M34BFT）		
1	燃料噴射弁調圧		
2	バルブセッティング		
3	始動弁開放整備		
小 計			
II	廃油タンク内部掃除（タンク容積5.43KL）		
小 計			
III	その他		
1	ウエス、パイプ鉄くず、使用不能小型電化製品以上各引き取り処理		
2	下記ポンプ開放整備不良部品交換 冷却海水ポンプ 2台 冷却清水ポンプ 2台 サニタリーポンプ 1台 雑用水消火兼ビルジポンプ 清水移送ポンプ 主機燃料供給ポンプ 2台		
3	No.1,2発電機、動力及び照明関係絶縁抵抗測定、不良箇所修理 配電盤内掃除及び各部点検ボルト増し締め、計測記録表3部提出		
4	陸電供給一式		
5	F0サービス、セッティングタンク開放内部掃除		
6	高低温清水膨張タンク開放内部掃除		
7	F0、L0ドレンタンク内、F0、L0抜き取り（タンク容積1KL）		
8	潤滑油積込（L0タンク） シェル アーギナ S2 40 2kL		
9	機関室及び船底掃除、船底ビルジ及び廃油タンク等陸揚げ、廃油処理証明書提出		
10	F0サービス、セッティングタンク溶接部より油にじみ点検調査		
11	高温及び低温冷却水全抜き取り		
12	高温及び低温冷却水膨張タンク開放清掃		
13	冷却水張り込み時防錆剤投入 防錆剤ドック支給		
14	FPT、No.1～4清水タンク、雑用水タンク開放清掃 清水張り込み時塩素投入 塩素ドック支給		
15	下記船底弁開放整備 エア抜き弁含む 冷却海水ポンプ 2台 サニタリーポンプ GSポンプ 冷凍機コンデンサーポンプ 2台		
16	下記船外弁開放整備 冷却海水ポンプ 2台 GSポンプ サニタリーポンプ ディスポーザー 冷凍機コンデンサーポンプ 2台		
17	セントラルクーラー開放整備		
18	雑用清水ラインに減菌器増設 No.1,2清水タンクより検水コック増設 計2箇所 機関室内清水・雑用ライン配管に水抜きコック増設 各4個 清水・雑用ライン内の残水をエアで排出出来るようエアークラ増設		
19	ラインホーラー縄捌き増設 1台		
20	船首・船尾電装品箱 スカッパシール 4個支給		
21	主空気圧縮機解放整備 オイルドック支給		

		金額	備考
IV 新造船残工事			
	1 主機吸排気弁予備品12本 設置場所変更 減速機上、階段上がって左舷に変更 奥行約600mm横幅2800mmの土台を作成し設置		
	2 陸電取り込み口 陸電用キャブタイヤ釣り金具追加。 現在付いている金具から船尾方向700mmの位置に1個追加。 金具の大きさは直径8mm長辺88mm短辺55mm長短辺間の開口80mm		
小 計			
機関部合計			
無線部			
〔定期検査受検〕			
A	国際航海船舶局 りあす丸 無線定期検査受検関係 GMDSS無線検査（国土交通省） 電波法 一般無線機器検査（総務省） 上記 船舶局定期検査並びに書面検査提出等一式 KDDI 船舶局定期検査並びに書面検査提出等一式 上記 KDDI 検査手数料		
B	船体検査関係 GMDS：航海用具検査 GMDS：救命設備検査		
C	法定書類関係 法書類整備 一式		
無線部合計			
合 計			